

姫治地区懇談会での主な意見と回答

日 時 平成28年1月16日(土)午後1時~午後2時30分

場 所 姫治公民館

出席者 31人

市長による講演「『住みごこち一番・可児』を目指して」の後、質疑応答が行われました。

【質問】地区内には農振農用地が多く、店舗や住宅が建てられないのが現状です。人口減少に対処する方法として、ある程度の地域がまとまれば、農振農用地の弾力的な解除を検討できないでしょうか。

【回答】現在すでに農振除外の考え方の見直しを進めています。利便性などから宅地化へのニーズが高く、またインフラ整備にそれほど投資が必要でないことや災害発生の恐れが低いことなどを勘案しながら、除外の可能性について考え方を整理しているところです。国や県との調整が必要になりますが、適正な除外については今後進めていきたいと考えています。

【質問】市内には市議会議員が不在の地区があり、中長期的な視点で地元要望を市に上げることが困難になっていると思われれます。そこで、自治連合会の区域ごとに、地元要望を取りまとめて市と折衝する委員を設置してはどうでしょうか。またそれに伴って、市議会議員は市全体の仕事に集中することとして、定数を削減してはどうでしょうか。

【回答】地区要望については、自治会を通してまとめて要望いただく仕組みとなっており、市としては個別要望の内容を確認し、優先度を判断したうえで対応したり、次年度以降への引継ぎなどを行っています。それ以外の取り組みを考える場合、委員の選任方法や自治会および市議会議員の役割をどのように考えるのが課題となります。

基本的には自治会で地元要望を取りまとめていただき、市としっかり連携することが自治会離れを防ぐことにもつながるのではないかと思います。市議会議員がいるかどうかにかかわらず、市としても積極的に地元の要望を十分聞く機会を確保するよう努めていきます。

【質問】空き地・空き家の増加や農地の荒廃が進んでいる。これらへの税金を上げるといった対策は検討されているでしょうか。

【回答】荒廃農地については、一定規模以上の面積が無いと農業経営が成り立たないなど、貸借などの対策がなかなか進んでいないのが現状です。税率を上げることにも困難です。

また、空き地・空き家についても、全国的な課題として国で検討がなされており、市としてもその動向を見ながら周知等に努めたいと思います。

【質問】ウォーキングの推進と併せて、エアロバイクなどの健康器具を公民館に設置できないでしょうか。

【回答】エアロバイクなどの健康器具は取り扱いが難しく、全国的には事故発生の事例もあります。公民館に設置する場合は、設置スペースの確保や取り扱う際の管理責任など、地元の皆さんの合意形成をしていただいたうえで、自治会等の負担での設置をお願いすることになると思います。

【質問】可児郵便局が大変混雑し、県道も渋滞しています。もっと便利の良い場所に移設できないでしょうか。

【回答】同様の要望は多く寄せられており、市からも郵便局に伝えたいと考えています。しかし、市として土地の斡旋などはできますが、費用負担までは考えていません。

【質問】今地区で太陽光発電事業が行われていますが、豪雨時などに当該地から土砂が流出したことがあります。今後集中豪雨などに対応するためには調整池が必要ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

【回答】一定規模以上の開発であれば、市としても指導など行いますが、どのように関わったかまでは承知していないため、確認してみます。

後日確認した結果、当該事業は都市計画法に基づく開発許可の対象ではな

いため、調整池の設置までを義務付けることはできないものでした。なお、市との開発協議の中で、近隣への被害が出ないよう雨水対策などについては指導を行っています。